

4 良質・安定した飼料生産に向けた農地集積

[上北郡東北町夫雑原地区 農事組合法人北栄トラクター利用組合]

1 地区の概要

夫雑原地区は農家戸数110戸、農地456haの酪農地帯。

2 農地集積の停滞

- (1) 夫雑原地区では、昭和35年にトラクター利用組合を創設。昭和44年には「農事組合法人北栄トラクター利用組合」として法人化し、農作業の受託が中心。
- (2) 利用組合では、平成17年に混合飼料を製造・供給するTMRセンターを整備。
- (3) 農地を借入れて安定的に混合飼料の原料を確保しようとしたものの、農家が長期にわたる貸借は不安であるとし借入れが停滞。

3 農地中間管理事業利用のきっかけと農地集積

- (1) 組合員・農家の高齢化等により組合への作業委託等の依頼が増加。
- (2) 農地中間管理事業がスタートし、要件を満たせば協力金が交付されることもあり、また、TMRセンターの安定稼働に必要な作業委託を貸借に切り替えるため、法人の役職員が土日の区別なく、農家を戸別訪問し農家の理解を深め、同時に県・町・機構も一体となって働きかけ。
- (3) その結果、作業受委託を切り替えて農地中間管理機構を通して約80ha近い農地の集積が実現しTMRセンターの原料確保が安定。
- (4) 28年度以降も農地の集積を行い、地域集積協力を申請予定。

4 農地の集積結果

区分	地区	うち法人分
農家数	110戸	37戸
農地面積	456ha (畑436ha 田20ha)	所有3.7ha、借入78ha (18戸) (内機構借入78ha、 作業受託分147ha)

5 今後の取組

- (1) TMRセンターの安定稼働には、さらに農地の集積が必要。
- (2) 農家は将来、農地の相続トラブル(相続人の中には非農家も出てくる)が心配で、長期の利用権設定に不安。
- (3) 引き続き粘り強く説明をして不安解消に努める。



TMRセンターの稼働状況

